

令和7年度平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール 入賞者

(1) 小学生の部

<p>滋賀県知事賞</p>	<p>学校名（学年）・氏名</p> <p>選定理由</p>
<p>ピース部門</p>	<p>近江八幡市立金田小学校（6年）</p> <p>澤 絢人</p>
	<p>平和にとって一人の困っている人を助け合うことが大切であることをハカリによって表現できています。</p>
<p>ハート部門</p>	<p>守山市立物部小学校（6年）</p> <p>塩塚 心々奈</p>
	<p>「平和の誓い」に参加し、千羽鶴をささげた経験から感じたことを素直に表現しています。染めた紙をちぎって貼り合わせた折り鶴を切って作った千羽鶴が印象的です。戦時中の人々の表情からひとりひとりの「生きたい」という思いが伝わってきます。</p>
<p>オリーブ部門</p>	<p>湖南省立下田小学校（6年）</p> <p>谷口 涼香</p>
	<p>全体的な色のトーン、少し薄めの色塗り重ね、主線のない表現など、バランスとまとまりが良い作品です。国旗も葉っぱの形になっていて、ちゃんと木として育っていくという雰囲気がしっかり出ています。</p>

(2) 中学生の部

<p>ピース部門</p>	<p>東近江市立聖徳中学校（3年） 杉島 明香里</p>
	<p>戦後80年の今年の作品として、メッセージが強く伝わってきます。</p>
<p>ハート部門</p>	<p>近江八幡市立安土中学校（1年） 上角 ふく</p>
	<p>明るい色で楽しい雰囲気「平和」と暗い色で恐ろしさを感じさせる「争い」を対比させることで二つの世界の様子のちがいが一目見て伝わるように工夫されています。「平和」の部分が多くし、人の表情が豊かに表現されており、平和な未来を願う気持ちが伝わってきます。</p>
<p>オリーブ部門</p>	<p>守山市立守山北中学校（3年） 若井 美月</p>
	<p>とても丁寧に描かれています。白地に白い光や白いハートを配置しているのも、みる角度によって見え方が違い、豊かな表現となっています。地球には主線がなく、グラデーションで、国旗はしっかりした主線、花は細めの主線と、メリハリのついた画面構成です。</p>

ピース部門・・・平和祈念館の理念と合致していることや祈念館の事業を推進する上で効果的な作品

ハート部門・・・制作者の平和への思いを画面に意欲的に工夫し、効果的に表現している作品

オリーブ部門・・・平和への思いを自分らしい発想や構想で表現し、線画や色使いの技能に優れた作品